

# 自然放射線と診断用X線の放射線量の比較

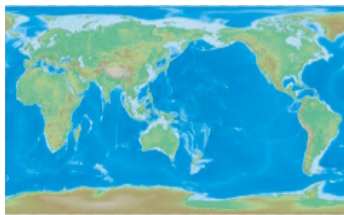
単位：ミリシーベルト (mSv)



ブラジル・ガラバリ市街地の  
年間自然放射線

10.0

※住民の放射線による影響は皆無



世界平均の一人あたりの  
年間自然放射線

2.4



東京ーニューヨーク  
航空機旅行(往復)

0.19

※高所では宇宙線が増加



セファロ撮影

0.01

0.01



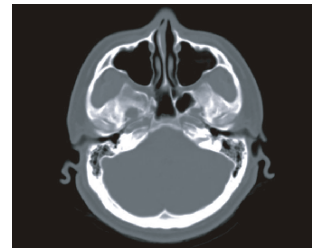
パノラマ撮影

0.02



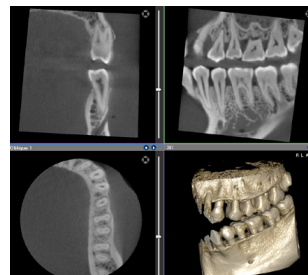
デンタル撮影

0.005



全身用CT装置での  
頭部X線撮影

2.0



歯科用CT撮影

0.2

1.0

10.0

自然放射線とは、  
・大地の放射性物質  
・空気中の放射性物質  
・体内の放射性物質  
・宇宙線  
の合計値のことです。

当資料は実効線量(全身の組織と臓器ごとにX線の影響を加味して計算した総線量)による比較です。

通常、被曝評価は吸収線量(mGy)で行いますが、自然放射線と比較するため実効線量(mSv)を用いています。

実効線量はICRP1990勧告(Publication 60)に準拠しています。

※全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会の資料からの抜粋